

床暖房のまめ知識

今回は床暖房の一般的な事を話します。

◆床暖房の分類

床暖房は建築的な面から大きく2つに分かれます。床の仕上げ材（フローリング）が床暖房と一体になった『仕上げ材一体型』（以降『一体型』）と、仕上げ材を自由に選び組み合わせる『仕上げ材分離型』（以降『分離型』）です。『一体型』は、大工さんで敷設が可能なため、工務店が計画施工する住宅に多く使用され、『分離型』は、仕上げ材が、石、コルクタイル、フローリング、等いろいろな仕上げ材を選択できるため、デザイン等にこだわった建物に採用される事が多い様に感じます。（表1）弊社は昔どちらのタイプも扱っていましたが、あるクレームから『一体型』の取り扱いをやめて、10年以上経つため知識が古いかもしれません。

『一体型』は電気式がほとんどです。温水式はあまりありません。これは一体型温水式パネルのサイズが大きな物でも30cm×180cm程度でお部屋に敷き込むとたくさんの接続部ができます。接続部が多くなると漏水の危険が増えます。さらに床内に設置する『一体型』と床下にある接続部へ上がったたり下がったりの配管でエアだまりが起り通水不良になり易い構造になっています。このことから多くのメーカーは取り扱っていません。弊社の温水式は、前のリスクを減らすため、ノージョイント工法を推奨しています。

『分離型』はいろいろな仕上げ材に使えますが、床仕上げ材や、床の構造により使われるヒータが分類されます。この分類は次回に述べます。

(表1)	特 徴
仕上げ材一体型	ヒータの表面に床仕上げ材が貼り付けてある。床仕上げ材が限定される。大工さんが施工できる。（電線の接続は、電気工事士の免許が必要）ヒータ表面の仕上げ材が薄いので、温度が早く上昇する。パネルとパネルの境目が冷たい。
仕上げ材分離型	ヒータと床仕上げ材は別々である。床仕上げ材の選択肢が多様である。ヒータ敷設と仕上げ材敷設の2工程必要。ヒータパネルとパネルの境目が解りづらい。

参考（実際にあったクレーム）

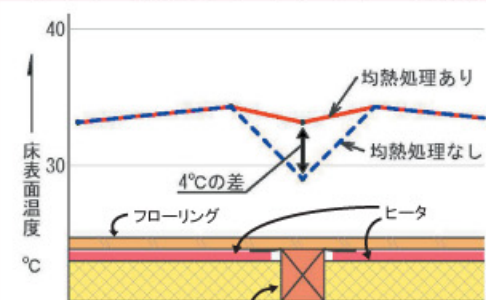
(1) 標準工事後、『一体型』間の接続を隠すフタが引っかかりすぐ外れた。工事を簡単にするため床の上から接続する構造だった。それを隠すフタをビスで止めるとみっともないので、両面テープでの接着するようになっていた。フタがとて外れやすく、引っかかるとすぐ取れた。

※今はこのような物は製造していません。

(2) 『一体型』を釘で固定するために周辺2cm程度ヒータが入っていない。そこは均熱処理していない。突き合わせて貼るため4cmも暖かくない。暖かい中にそうでない部分があると非常に冷たく感じる。これが30cm間隔で何列もあるため、温度ムラでとても違和感があった。

※ヒータが入っていないイコール均熱処理していないと同じと考えました。参考資料をご覧ください。（図1）

(図1) 均熱処理あり、なしの温度差



根太の間に敷き込むタイプの温度を測定。ヒータ上と、ヒータが入っていない根太の上は温度差がある。均熱処理をすれば温度の差は少しだが、しないと、とても冷たい。

次回につづく



いつも『ぽかぽか新聞』のご愛読ありがとうございます。寒くなりました。休日は、床暖房で快適な和室から離れる事が出来ずに、黒白ネコ2匹と畳の上でごろ寝ばかりしているサン・フロアホーム（株）の東です。師走になりました。今年もあと1ヶ月。今年の抱負で『1週間で1冊本を読む』を掲げたのですが、その結果は……。まあプロ野球では3割打てれば一流なので、それは楽々クリアしているという事でご想像下さい。

さて弊社では、昨年から21世紀の床暖房として、イゼナのアクアレイヤー床暖房システムを提案しております。提案を始めて2年目の今年は4件受注をいただき、より快適な床暖房空間を創るスタートが切れたと思います。来年は2桁を目標にがんばります。全国では1000件以上を施工しているすばらしいシステムなのに中国地方ではまだ1桁、寂しいですね。今年はこのシステムの普及のため、展示会に3回参加しました。今まで展示会はメーカー主導で参加すると思っていましたが、弊社のような零細企業でメーカーでない会社も多く参加しており、びっくりしました。私が世間を知らないのか、世の中変わったのか、どうでしょうか。2011年も『ぽかぽか新聞』をよりにためになり、「ぽかぽか」になれるようにしていきますので、変わらないご愛読をお願い致します。



セバスチャンの様子をみてきました。

毎月『ぽかぽか新聞』と愛読させて頂いております。1994年〜現在新築した10階の床暖房を施工して頂くにあたり、5〜6年前、暖房の効率が悪いという話を聞いた。もう寿命が尽き、と見て以来、使っておりません。今年26年間のセバスチャンの現役で、ご活躍の記事を讀み、誠に。我が家のセバスチャン、健康でいよう。出来れば、しらな？

2010.10.25.

呉市のNさんから10月号の記事を見てFAXをいただきました。早速お伺いしました。

「壊れていたらどうしよう」と心配でしたが、異常がなくて安心しました。温度測定してもちゃんと暖まっていた。Nさん宅のセバスチャンもまだまだ現役ですよ。今年の冬は使ってやって下さい。「セバスチャンって？」とおっしゃっていましたが、元ネタはアルプスの少女ハイジに出てくる執事で、家にお仕えしているイメージでこのように書きました。良いと思うのですがいかがでしょうか？帰り際に、沢山のみかんを頂きまして、Nさんありがとうございました。みんなで分けていただきました。おいしかった〜！《吉川》

岡原です!!



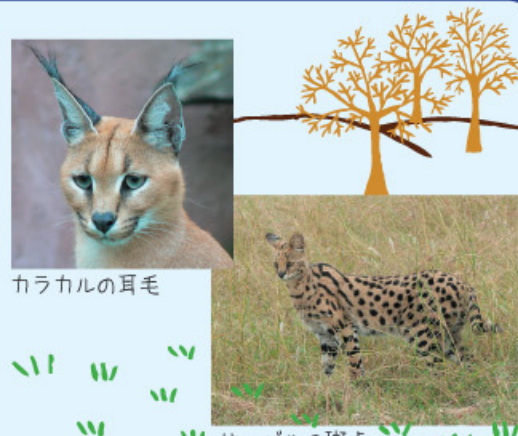
「お久しぶりです。岡原が担当します。」

仕事の疲れを癒そうと、坂ベイサイドビーチへ釣りに出かけました。投げ釣り狙うは大物!防波堤より1投目、フィーシュ!!すぐにあたりが!!25センチくらいのフグです。幸先の良いスタートでしたが、フグを捌けないので迷がしました。その後はあたりも鈍く小魚が釣れるくらいでした。少しすると小雨が降り始めました。これくらいと思っていたら、本降りに。予報ではくもりだったはず。やってしまった雨男だった。海の中、気持ちよさそうに回遊するサヨリを眺めながら、サヨリ狙いにすればよかったなと思いました。ずぶ濡れになり疲れ果てて家へと帰る雨男がひとり……。くもりの日は釣りをしないと誓いました。



よっちゃんの巻

営業グループの私ですが、この時期になると工事に行くことが増えます。福山の動物園で床暖房の工事をしました。檻の中への床暖房です。寒さに弱い動物が病気にならないように、またお客さんが見やすい所に動物を集める時にもよく採用する設備です。今回の動物は、黒い斑点が綺麗なサーバルと耳に生えている黒い毛が特徴あるカラカル。アフリカなどの草原に生息するネコ科の動物、寒いところで飼育するのはかわいそうですね。床暖房の上でサバンの仲間思いを馳せるのかな？



カラカルの耳毛

サーバルの斑点

床暖房のことなら私たちにおまかせ下さい!!

サン・フロアホーム株式会社

〒736-0083 広島市安芸区矢野東4丁目13-10

082-888-5137

FAX 082-888-5243

www.sanfuroa.com

info@sanfuroa.com